

【PR総研セミナーのご案内】

広報管理職限定・特別セミナー

SNS時代の広報戦略(広報部門の新たな役割)

7月2日(木)13:30~18:00(受付開始 13:00~)

経営戦略上、広報活動がますます重要な位置を占め、広報部門はコーポレートブランド構築に必須の中心機能となる中、戦略部門として企業トップから新たな役割を果たしていくことが求められています。ステークホルダーのコミュニケーションモデルが明らかに変化し、宣伝広告や従来のマスコミ広報だけでは十分に企業への信頼を築くことができなくなり、新たなコミュニケーション活動が求められています。

PR総研ではこうした課題の解決に向け、広報責任者・管理職対象(限定)のSNS時代の広報戦略と新たな広報部門の役割をテーマに特別セミナーを開催します。

具体的には、企業組織の変革が進む中で、グループ企業だけでなく様々な形で連携している企業の従業員に対しても『コーポレートブランドの育成に対するモチベーションの付与=期待価値創造に対する参加意欲』の向上や、お客様をはじめとするステークホルダーの『企業・ブランドに対する期待感の醸成』によるコミュニケーションの活性化、『広聴機能の充実』による危機を未然に防ぐ危機管理の強化など挙げれば切りがありません。しかし、新たな戦略広報を展開するにあたって『どうすれば広報部門として、社内外ステークホルダーのモチベーションを向上することが出来るのか。』『SNS時代の中で、自社に対する期待感を育成・向上させていくためには何が必要なのか』『そのためにスタッフをどの様に訓練し、どの様なスキルを身につけさせたら良いのか』など様々な悩みに突き当たります。

本セミナーでは企業と広報コンサルタント双方の立場で豊富な経験を持ち、長い間、ITの企業導入を支援し、活用のコツを熟知した専門家(雨宮和弘)がこれからのITを活用した広報・コミュニケーションのノウハウを伝授します。

加えて、PR総研の主任研究員(呉慶和)が『PR・広報実態調査』のデータを分析して、広報部門が置かれている、課題・問題点を報告するとともに、長い経験を持つブランドコンサルタントの立場から、ブランディングにおける広報部門の役割を解説します。

さらに、30年以上 PR 会社で広報コンサルティング経験を持つ PR 総研所長(篠崎良一)が、情報接触パターンの変化を受けて新たに求められる広報部門の役割、SNS時代のリスクの特徴と対応ポイントなどこれからの危機管理広報をレクチャーします。



「PR総研」

共同ピーアールが、2013年1月31日に創設した調査・研究機関。共同ピーアール元取締役副社長の篠崎良一が所長を務め、社外の有識者と社内のスタッフで構成しています。広報・PR活動の価値向上を目的とした調査・研究の発表、セミナーやシンポジウムを実施しています。

【第1部】SNS時代における広報部門の役割と広報におけるIT活用』(90分)

1. 振り返るこの30年のビジネスの変化。 2. ネットの出現から生活基盤としての活用まで。 3. 企業、社会、メディアの関係の変化。 4. 企業コミュニケーション手法の変化。 5. ネットへのアクセス方法の変化と企業サイトの対応変化。
6. ジャーナリストが企業のウェブに期待するもの。 7. 国内外の企業のオンライン活用の事例(Web)。
8. 国内外の企業のオンライン活用の事例(SNS)。 9. オンライン広報を主軸にしたコミュニケーションマネジメント。
10. ガイドラインと社内導入・浸透の方法。 11. 広報部門の役割変化と今後の可能性。

<講師> 雨宮 和弘 [クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社代表取締役]

日本広報学会理事、IABC 正会員

【第2部】『コミュニケーションモデルの変化とブランディングにおける広報部門の役割』(40分)

1. コミュニケーションモデルの変化と広報部門の役割。 2. 企業ブランドへの期待価値を共創する(ステークホルダーと)時代。 3. 今話題のインナー広報・グループ広報(ロイヤリティからモチベーションへ)へ。イベントも変わる 社内報も変わる
4. 社内コミュニケーションプロデューサーとしての広報部門。 5. 広報部門にとっての効果測定。

<講師> 呉 慶和 [PR総研主任研究員/工学院大学大学院システムデザイン専攻講師]

【第3部】『SNS時代の企業広報とクライシスコミュニケーション』(40分)

1. 情報接触パターンのパラダイムシフト。 2. メディアの構造変化と広報部門に求められる新たな役割。
3. 企業への信頼を築く要因は何か? 4. SNS時代のリスクの特徴とその対応。 5. これからのクライシスコミュニケーション(危機管理広報)

<講師> 篠崎 良一 [PR総研所長/広報の学校学校長]

【第4部】パネルディスカッション『これからの広報部門は何を期待されているのか』(60分)

<参加者とのディスカッション>

ファシリテーター

呉 慶和

パネラー

雨宮 和弘、篠崎 良一

※ 参加者との討議、ディスカッションを含みます。

■講師■

雨宮 和弘 クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社代表取締役

日本テキサス・インスツルメンツ、インテルジャパンにて企業広報、ウェブマネージャー。1997年独立し雨宮和弘事務所設立。1998年クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社設立し現在に至る。

オンラインメディア活用の経験は古く、数多くの実践経験を持ちコーポレート・コミュニケーションのプロとして企業のオンラインメディア活用を中心に今日の企業コミュニケーション組織やキャリアモデルの確立をサポートする。

日本広報学会理事、IABC(International Association of business communicators)日本支部代表。

自社ホームページ(<http://www.crossmedia.co.jp/>)

呉 慶和[PR総研主任研究員/工学院大学大学院システムデザイン専攻講師]

東京理科大学理学部応用化学科卒。理想科学工業、日本カラーデザイン研究所、トータルメディア開発研究所、日本アプライドリサーチ研究所経営・マーケティング開発室取締役主幹研究員を経て現在、株式会社ドリサーチ研究所主幹研究員データストラテジスト、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師。専門分野は「調査」「ブランド開発」「ブランドメッセージ開発」「ブランドVI開発」。著書に『再入門利益が上がる「市場調査」のやり方』。マーケティングサイエンス学会、オペレーションリサーチ学会、各会員

篠崎 良一 PR 総研所長 『広報の学校』学校長 (共同ピーアール株)

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同PR株入社、取締役、常務取締役、取締役副社長を歴任。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。

企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP 広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニング、危機管理実務、クライシスコミュニケーション・コンサルティング、(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査を担当。

著書に『入門メディアトレーニング』(アニモ出版)、『実戦企業広報マニュアル』<韓国版が2004年に刊行>、『会社を守る! もしものときのメディア対応策』(共にインデックス・コミュニケーションズ) 『広報・PR概論』(共著、同友館) 『広報・PR実務』(監修、同友館) 『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。日本広報学会、日本PR協会、日本コーポレートガバナンスネットワーク、各会員。(社)日本PR協会認定資格『PRプランナー』試験委員。

[実施概要]

- 日 時 **2015年7月2日(木) 午後1時30分～午後6時[受付:午後1時より]**
- 対象者 広報・マーケティング部門の責任者・管理職
- 会 場 共同ピーアール株式会社 3階 研修室
中央区銀座7-2-22 同和ビル TEL.03-3571-5159
- 定 員 30名
- 受講料 3万円(消費税、レジュメ、資料代含む)
- 申込み 受講申込書に記入の上、FAX(03-3571-5183)下さい。
※ 請求書が必要な方は受講申込書に記入してください。
※ 参加者には受講証(地図)を送付いたします。
- 締切り **7月1日(水)まで** ※申し込み順、定員になり次第締切りとさせていただきます。

PR 総研(共同ピーアール株式会社内)篠崎・浅沼

TEL. 03-3571-5159 FAX. 03-3571-5183

<http://www.kyodo-pr.co.jp/> Email. ipr@kyodo-pr.co.jp

【FAX to 03-3571-5183】

広報管理職限定・特別セミナー参加申込書

『SNS時代の広報戦略(広報部門の新たな役割)』

日 時 = 2015年7月2日(木) 13:30~18:00

会 場 = 『広報の学校』銀座教室 (共同PR株式会社 研修室)

中央区銀座7-2-22 DOWAビル 3F TEL.03-3571-5159

貴社名		電 話	
御住所	〒 -	FAX	
		Eメール	
御名前		御所属 (役職名)	
請求書	要() 不要()	請求書 宛先	